婦人と新社會

山田わか主筆

五月號

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
昭和三年四月二十三日印刷納本

過激思想家の偏見

女學校の修身教育

統一を破壞しつゝ
　ある都會の家庭

遺傳と環境

親の愛の起原

親の愛の進化

都會の家庭と田舍の家庭

世界的(ウォールド)薔薇(ローズ)の花心

昭和三年五月一日發行　第九十八號　每月一回一日發行

東京市…婦人と新社會發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

過激思想家の偏見

一體、私共人間はどの方向に向つて進んで行かうとするのでせう。「人間は單に一つ處をぐる〳〵廻つてゐるに過ぎない。この社會の姿はいつも同じようだ。人間性に變りが無い限り社會制度も同じであつて差し支へは無からう」と云ふように考へてゐる者もあります。

併し、大多數の人間はさう云ふ考へ方に滿足しては居りません。彼等は運命と云ふ四壁の中に閉ぢこめられて、そして、そこからの出口があるかどうかと云ふことに付てもだへてゐます。

勿論、その出口のあることを私共は信じて可なりだと思ひます。

併し、その出口、卽ち、進歩の道は革命家が云ふような簡單な直線ではありません。人類の文化生活は進んで止まないものではありますが、その動き方は直線でもなく、圓でもなく、併し螺旋であるのです、そして、四壁の一方を打ち破つて出るのではなく、既成の道に沿ふて進み出るかたちであります。

人間性なるものが過去二百年乃至二千年間同じようで變化がないとしても、併し、社會生活の事情は全く變つてしまてゐます。今より百年とは云はない、五十年前に東京を出た人が今歸つて來たならばそれは全く別世界であるような心持ちがするでせう。

歴史家は未來の出來事は豫言しません。彼等は、たゞ、どう云ふことがあつたか、又は、社會力がどう云ふ風に動いて來たかを示すだけです。そして、その後のことは社會學が擔當します。

社會科學は社會の生活を鎖の輪のようにつながつてゐる原因結果の續きとして表します。

そして、人間の知識が一度この社會力を正確に測量することが出來、その力の運動を正しく方向づけることが出來るならば、その効果は、空氣や電氣や蒸汽や水力や、又は、その他の自然界の力が整理され利用せられるように社會の力が整理され利用され、人類全般の福利の增進となるでせう。

これが卽ち社會の進歩であるのですが、併し、この進歩の障害となるものは、無學とそして過激思想家の偏見及び破壞主義であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

女學校の修身敎育

學校生活の經驗を全然持つてゐない私は、女學校の倫理敎育の實際について何にも存じません。唯、折々女學生の口から「お修身の時間は居ねむり時間よ」などゝ云ふ言葉を聞かされ、又は、敎育者の「若い人達をどう處置すればいいか殆んど途方にくれてゐる。あまくすればつけ上がるし、嚴しくすればひねくれるし、いづれにしても手の附けようがない」と云ふやうな述懐を耳にしたりして、「女學校の倫理敎育はこんなものだらう」と云ふ概念を持つてゐるだけです。ですから、私がこれから述べることに、もし誤解がありましたならどうぞ御指摘を願ひます。喜んで御敎示を仰ぎます。

○

それは長い前のことでありますが、すゝめられて私は基督敎婦人の會合に出席して見たことがあります。あつまつた婦人達は基督敎に對する信仰を話したり、又は、その時の心境を告白したり、とにかく、其處に繰りひろげられる言葉の數々は皆心理であつたり、善良な意志の發表であつたりしましたが、併し、それ等の數々の言葉の意味が、現在の忙しい生活とどう云ふ關係があるだらうと考へて見た時に、そこに大きな疑問を見出さないわけには行きませんでした。が、今、女學校の倫理敎育と云ふことを考へるに當つて、私は、すぐ、此の時の會合と、此の會合に於て起した疑問を思ひ起しました。

基督敎婦人の言葉は皆誠意から出たものであ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つたでせうやうに、倫理の先生達の云はれる言葉も誠意のこもつたものであるに相違ありません。聖書は其の全部が眞理を物語つてゐるやうに、倫理の教科書は善いことのみ書いてあるに相違ありません。

　善いことのみが書いてある書物を讀まされ、誠意ある言葉のみを聽かされてゐるのに、何故に、生徒達は居ねむりをしてゐるのでせう。何故に、倫理教育なるものが生徒の生活に入ることが出來ないのでせう。それは要するに、それ等の文字や言葉が潑溂とした生きた生命に觸るゝ點が少ないからであるやうに考へられます。

　若い人々を教へ導くには、單に教へることに熱心であると云ふことだけでは足りません。又、單に、同胞愛や人道を說くだけでは効果が無いと思ひます。つまり、倫理を說く時には、現代生活の複雜さを意識してゐて、その言葉のうちに經濟的及び社會的の法則が含められてゐなければならない。けれども、多くの倫理の教師にはそれだけの資格が備はつてゐない。從つて、新時代の生命を溢れさせてゐる新興國民の心には彼等の教へがピツタリはまつて行かないのだと考へられます。

　勿論、女生徒は十人が十人皆居ねむりをしてゐる、又は、倫理教育に反感を持つてゐると云ふわけではありますまい。教科書に書いてあることを熱心に讀み、先生の言葉をすなほに受け容れて、もつて、身を修め得て居る者もあるには相違ないでせう。

　いつの時代にも、又、何處の國でも、可も無し不可も無し的人間が多數です。そして、かう云ふ種類の人間には比較問題は少ない。が、かう云う種類の人間は微溫的生活に甘んじてゐるのであるから、進歩した時代精神を代表する

ものでは無いことを知らねばならないと思ひます。

○

國民的精神は地に落ちた。道德は破壞されたと云ふ聲を聞くのは既に久しいものです。そして、これは、國民の精神を指導しなければならない位置にある教育家が、潑溂たる若き生命を、云ひかへれば、進歩した時代精神を掴み得てゐない處に歸因するものであらうと私は觀測して居ります。

文化が進めば進むほど、私ども人類の實質的の幸福が増加することの代りに、益々、不安と不幸が大きくなつて行くのはどう云ふわけですか？　それは今日の文化が知力ならびに技術の文化であつて、道德的の文化でないからです。云ひかへれば、知力並びに技術の教師は偉大な成功を納めてゐるのに道德の教師が非常に後れてしまつたことを意味するのです。

と云つて、これは我が國にばかりでなく、各文明國に現れた現象です。倫理教育は男女生徒を通じて世界各國民の頭を惱ましてゐる問題です。

○

ですから、文化の發達の此の變態的傾向の責任をひとり倫理學者及び倫理の教師にのみ負はせることは無理でありませう。

なぜなら、現代は社會良心に非常に混雜を來たしてゐる時代です。舊社會の道德は其の社會の少數が指導者となつて一定の權限をもつて一般を支配してゐました。そして、有効でありました。道德も其の支配權の一部であつたのです。

けれども、自己に目覺め自己を最高に伸ばさねばならない權利を認めてゐる現代人、殊に、若い人々は、さういふ支配權に服從することを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

潔しとしません。そして、前の時代に嚴密に守られてゐた理想を疑ひの目をもつて見てゐます。

此處に問題があります。つまり、古い着物は捨てたが、それに代る新らしい着物が無い。それがために、此處に混雜が惹き起されたのです。

且、又、知識の獲得と理解力の發達と云ふことが學校の授業時間の大部分を今は占めてゐるやうです。のみならず、知識と云ふものは少靑年男女にとつては興味があるに反して、倫理の方はどうも興味が薄い。と云ふのは、知識の方はとつてもつて直ぐに役に立つに反して、倫理の方は其れが自分の行爲に現れて、それから、他人に影響を及ぼして始めて效果が分ると云ふ種類のものであるから、從つて興味の起るのが遲いのです。いはゞ、知識の獲得の方は其處にあるものを摑みとつて來るのに反して、倫理の方は、からッぽな器で、其の器の中へこちらからものを入れて行かなければならないと云ふわけのものです。

ですから、倫理教育は、多くの場合、一種の無味乾燥な宗教講話のやうなものになつてしまつてゐたり、又は、單に、偉人や賢婦のお話、云ひかへれば、物語りになつてしまつてゐたりするのです。

○

現代社會の道德の廢頽、學校に於ける倫理教育の無能は、一にかかつて道德的指導者や倫理教育者の責ではないとは云つても、とにかく、それ等の人々が現代社會の實狀に精通してゐなければならないと云ふことは確かです。

唯、單に、善いことを教へるだけでは有効でありません。殊に、社會狀態が今よりもズッと單純であつた時代に有効であつた道德を、複雜

な今の社會に生きてゐる若い者に守らせようとすることは全然無理なことです。昔のまゝの道德を今の若い人達に說き聞かせることは、丁度、荒れ狂ふ波の上に僅かの油を流すやうなものでありませう。

今日の我々の社會は、資本家と勞働者の爭議、悲慘な民衆の生活狀態、勞働過度、安い賃銀からの苦しい叫び、或は、又失業といふやうな產業上の問題に直面してゐます。これは本誌上に於て一度云つたことですがもう一度くり返します。それらの問題は昔の猶太のあの健全な强力な豫言者の再來を願はしめて止みません。昔の豫言者は民衆の危機の場合や又は困難に陷つて居る場合には山中の仙人的の住居から或は沙漠から現れて來て、その嚴格な、そして素晴らしい權威ある語調をもつて『主は斯く宣へり』と民衆に命令しました。實に、一國の君主又は一國民を戰慄せしめた言葉の持主なる昔の豫言者の眞の力は何處にあつたかといふと、彼等は些細な事柄には超越して素晴らしい勢ひで働いてゐる大原理を摑み、民心の向ふ處の大潮流を喝破する處にあつたのです。故に豫言者の言葉は豫言といふよりは寧ろ彼等の肉眼をもつて實際問題の中心を見た事實であつたのです。つまり、彼等はその周圍に渦卷いて居た人間の慾望や主張の潮流を銳敏に觀察したのです。

○

とにかく現代の女學校の倫理教育が微温的であると云ふことは確かでありませう。今日の物質文明に對峙せしめて猶あまりあると云ふやうな道德的文化を建設して物質文化が生んだ不安と不幸を除去しようとするには最大限度に女性の德性を發揚せしめねばなりませんが、併し、今の倫理の教師には遺憾ながら其の資格が無い

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

やうに思はれます。一體、何を目標として倫理を敎ゆべきかさへもハッキリしてゐないやうに思はれます。

倫理敎育の目標と云ふことに就て、スペンサーは今より六十有餘年も前に既に次のやうなことを申しました。

「何年も〳〵の間子女は敎育されるが、併し、その得る處のものは單に世間的にていさいのいゝ知力的裝飾物であつて人生に於て實際に最も重要なる事柄――親となる――に就ては一時間も敎へられてゐない。人の親となると云ふことは少青年にとつては遠い〳〵來るか來ないか分らない出來事であらうか？　否々、十人のうち九人までは男でも女でも必ず親となつてしまふ。そして、親の義務を果すと云ふことは容易な仕事であるだらうか？　否々、人生に於ける凡ての仕事のうちで此の仕事が最も困難である。……この問題は凡ての男及び女の敎育上最終の卽ち仕上げであらねばならない。生理的の成熟が生理上の親となる資格のしるしであると同じく、精神的の成熟が精神上の親となる資格のしるしであらねばならない。」と。

○

倫理の敎師が忘れてならないことは自分の獨斷を生徒に押しつけたり、又は、純粹に因襲的な規則を敎へたりするのでなく、むしろ、道德の原則に確信を持たしむるやうに努力することです。

流動の烈しい現代の文明社會に於ては、人々の生活態度も常に變化しつゝあります。ですから、この變動極まりなき世の中に立つてゐて、一定の確乎たる道德的行爲の原則を握つてゐなかつたなら人は何處へ流されて行くか計り知ることが出來ないでありませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゆうづうのきかない云ひ傳へや、普通の人の習慣のみしか教へられてゐない少青年が、全然新らしい事情に遭遇した時には、彼等は其の新らしい事情の前にはどう自分を處置していゝか分らなくなる。そして、その事情に引き廻されてしまふ。そこで、如何なる場合に遭遇しても動じないやうな確實な道徳的基礎を築いて置かうとすることが倫理の教育の目的で無ければなりません。

もう一つ、倫理の教師及び親達が自覺してゐなければならないことは、自分達は現在に生活してゐるのであるが、子供又は生徒は將來に生活するのだと云ふことであります。

で、要するに、倫理教育と云ふことは、將來の親となる精神上の資格を造ること、並びに、將來に於ける生活の燈臺としての生活の標準を會得させることであると私は信じます。

統一を破壞しつゝある都會の家庭

遺傳と環境

遺傳と環境のいづれがより多く個人の人格を決定するに力があるかと云ふことは常に起つて來る問題ですが、とにかく、家庭と云ふ名で一般に通用してゐる社會生活の一形式は遺傳と環境とを二ツくツつけてゐることは事實です。

此處で私が家庭と云ふのは親子から成り立つ

てゐる一小團體であつて、血統上無關係な他人をもつて滿たされた共同生活を云ふのではありません。そして、この遺傳の要素は子供と兩親との關係のうちに代表されてゐます。

そして、その家庭は子供のためには第一の環境であります。それは、子供がかたちづくられる如何なる他の要素よりも長つゞきのする感化力であります。

家庭に於て、遺傳と環境は大抵の場合同じ一般的な結果を造るために共に働いてめつたに相反しません。そして、兩親の示す模範や敎へは子供の環境の一部分であります。もし、遺傳が惡いならば此の環境は決して善いものではないし、もし、又、遺傳が良くつても環境が惡い場合もあります。

で、惡い遺傳と環境が聯合した勢力が如何なるものであるかと云ふことに付て或るニユーヨーク州の統計は驚くべき事實を示してゐます。ニユーヨークのエルミラと云ふ不良少年少女の收養所の子供の二割四分は大酒呑みの兩親の子供。二割八分は甚だ曖昧な生活をしてゐる兩親の子供。一割三分は無敎育な兩親の子供。三割三分はようやく姓名を書く位ひの程度の敎育を受けた兩親の子供だと云ふことです。

親の愛の起原

子供の第一の先生は第一にその子供を愛する人でこれは大抵の場合母であります。何故に母が子供を愛するかは常にそして恐らく今後も依然と心理學上の謎でありませう。

凡ての植物又最下級な動物には親の愛と云ふものが全くかけてゐることは科學者の報告する處です。先づ普通に母の愛は幾分か高等になつて來てから現れてゐます。つまり、子供が兩親

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の手を要する處に母の愛があるのです。

　父親の愛は進化の過程に於てズット後に現れてゐます。併しながら父の愛と稱することの心理學の現象が何故に發達したかと云ふ進化論的の理由はいくつもあります。人間の場合に於ては乳幼兒時代の期限が非常に長い。そして、もし、我が身にかへて子供を保護しようとする親の愛が長く續かなかつたなら人間は一代で絶へてしまうであらう程、人間の子供時代は長い。

　が、何故に、親は子供を我が身にかへても保護しようと云ふ氣になるかと云ふと、それは、此の人生のあらゆるものに對する興味よりも子供に對する興味が最も大きいからです。そして、人は常により弱い興味を捨てゝより强い强味のために動くものです。そして、この興味と云ふ言葉を慾望と云ふ言葉に切りかへて用ゆるなら、もし、休もうと云ふ慾望よりも遊ばうと云ふ慾望が强いならば人は休もうと云ふ慾望を無論犧牲にして遊ばうと云ふ慾望を生かします。

　食物に對する慾望が休むことや遊ぶことの慾望よりも强いならば人は働きます。それと同じように子供に對する興味が自分の安樂や遊びに對する慾望よりも强いならば兩親は非常にめんどうな子供を世話するために自分の安樂や遊びと云ふものを犧牲にします。

　もし、かような興味が兩親にないならば子供は注意の缺乏のために成長することは出來ません。兩親以外の他人が子供に興味を持つようになる場合もあります。育ての親又は乳母がその例です。

　兩親のうちでも父より母の方が先きに子に對する興味乃至愛を深くするようになつたのですが、それは子供を育て世話することの行爲から母の愛情は發達したと云はれて居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

とにかく、親の愛情が人種の絶滅に對する自然の規定です。母は彼女自身の子供のために他の一切の興味を捨てゝ惜しまないように生れ付いつゐます。子供が社會に出て自分でどうかこうかできるまで子供を世話するに必要な厄介を負擔し得るように兩親を導くものは兩親の愛情です。

子供に對する兩親の興味は子供のために兩親の注意が必要である以上に長く積きます。

親の愛の進化

哺乳動物の子供は父によりも母に一定の期限の間は頼つてゐます。故に、母の愛と云ふものが進化の過程に於て父の愛よりもより早く何故に現れたかと云ふ充分な進化的の理由があります。

そして、父親の愛情の發達は父親の經濟的活動が子供の 生活のために 根本的に必要で あるか、又は、少なくとも、それが子供のために有利であると云ふような經濟發達の時代に現れたように思へます。生活の狀態が子供のために父親の手を少しも必要としない時代に於ては父親は自分自身の子供に僅かの興味も現してゐなかつたと云はれてゐます。父親の努力が必要であるとか又は有利であると云ふ發達の時代に到着した時に父親は彼の子供に對する興味を發達させた、そして、子供を扶養するために働くようになり、子供に對する興味のために多くの外の興味を犧牲にするようになつたと云ふのです。

で、その過程を具體的に云つて見るならば、先づ、一人の子供が生れたとします。その子供に對して、父親が情緒的な興味を持つてゐて子供の利益のために一生懸命働くならば、さう云ふ家庭の子供はよりよく養はれ、より高き教養

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を受けることが出來て、父親が子供の養育には無頓着、從つて、特に子供のために働くのを好まないような家庭の子供よりもよりよき人物になることが出來ます。

こう云ふ風に始まつた自然淘汰の過程によつて父親の情緒的興味を充分に受ける子供の將來は進歩と向上であり、その反對の傾向の父親を持つた子供の將來は暗黑です。或ひは滅亡です。そして、こゝに遺傳が要素となります。父親の情緒的な興味をその父親の感化によつて男の子が持つようになるならば、それがその男の子の人格のタイプをかたちづくります。そして、これが無限にくり返へされて、その最後の結果は父の愛と母の愛とがほゞ一致するようになりました。

父の愛と母の愛とがほゞ一致してゐる現代の家庭は、それが都市であれ田舍であれ、國民の安住所であると同時に一小集團であります。そしてこの集團の人々は愛情關係によつて結びつけられて、相互の扶助、相互の利益を第一義の目的として、働いてゐます。そして、その進化的作用は子供を養ひそして一人前に仕上げようとすることです。

都會の家庭と田舍の家庭

一家團欒の習慣は都會生活よりも田舍生活のうちにより濃厚に保存されて居ります。共に食事すると云ふ習慣は田舍の生活では普通ですが、都會の生活では其れが追々と困難になつて來てゐます。田舍の家庭に於ては家族全部が每日ほゞ同じ仕事に從事してゐます。家族共通の目的のために相助けて働いてゐます。ですから、三度の食事も家族全部が一緒にすることが便利でもあるし、又、經濟的でもあります。

けれども、都會の生活に於ては、それがだん〳〵難かしくなりつゝあります。と、云ふのは家族の各々が從事する職業は大抵別々であるし朝の出勤時間も夕方の退勤時間も大抵は同時刻でない、それにも拘らず一緒に食事をしなければならないと云ふ程の理由もないから、一緒に食事すると云ふよりも、むしろ別々に食事すると云ふ方が習慣にならうとしてゐます。

これは些細なことのようで、實は、一家の感情の融和のために非常に不利であり、從つて、共同生活の實がだん〳〵薄らいで行きます。

ですから、家庭の特長は都會よりも田舍の方がハツキリしてゐます。そして、この事實が農家の家庭の經濟的統一となり、一致共同となり、國力の重要素となつてゐます。

世界（ウオールト）薔薇（ローズ）の花心

現代の經濟上の變化が現代の禍患を醸したと人は云ひます。けれども、私は經濟ばかりが其の根本的理由の全部だとは考へません。人生觀や結婚觀が誤まつてゐること、及び、奉仕、自由、幸福、或ひは義務の見方が誤まつてゐることは其の原因を經濟狀態にばかり歸することは出來ないと考へられます。尤も、現代が非常に物質主義に傾いてゐることは事實ですが。

いづれにしろ、現代は若き人々にとつては非常に危險が多い時です。この時に當つて最も必要なことは理想を造ることです。現代の多くの男女のように個人的愛、即ち、利己的慾望を主眼として愛を求め、それを永久の幸福の根源にしようとしても、それは結局不幸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に終ること、若いうちは出來心に支配されるものであるから其れを警戒せねばならぬこと、個人の自由と云ふこと其れだけでは決して幸福は得られないこと、婦人の女らしさは無限に貴いものであることを私は若い婦人達に告げたいと思ひます。

「戀愛は其のあらゆる表現に於て、たましいの最も大なる擴大であり、最も統一的であり、殊に、凡ての愛の中で最高なるものを吸收する。實に、戀愛は外の愛とは異つて靈肉の一致となり、個人生活と社會生活の一致となり、そして、偉大にして神祕なる世界的薔薇の花心となり、社會のあらゆる事柄は此の花心の周圍に發生する族葉である。この事實を輕視し乃至無視して居て社會問題又は政治問題を解決しようとする努力は恰かも地震で搖られて居る地上に家を建築しようとするようなものであり、あらゆる文化の創造的活動は病毒ある水源から流れ出づる濁水の如くであり、人生のあらゆる方面の力の發達は萎びた根から生へた植物の如きものである」とエレンケーは云つて居ます。

女史は、又、續けて申ます。「大都會の貧民窟を一度通過した人は誰でも今日我々が社會問題に關して餘まり多く論議するとは云はないだらう。故に、現今の性關係、その階級の如何を問はず委く貧民窟である性關係に附てはどんなに論議しても論議し盡せるものではない。「現今社會の戀愛の浪費と結婚の悲劇の夥しさはその夥しさのために其れ等の不幸を見、聞きする目と耳が痲痺してしまつた」と云つた詩人の言葉は現在の此の狀態を適確に裏書きしてゐる」と。

編輯の後

先づ、全快したことにしてゐるとは云へ、まだ肉體の或る部分に不自由を感じてゐる父親をなぐさめようとして長男がセキセイインコを一つがい買つて來た。

この世に生を受けるとから數十羽と共に賑やかに其の日々々を送つてゐた此の小鳥達は靑いペンキぬりのかごの中に極めて淋しそうにションボリしてゐてどうも元氣が足りない。

で、お友達を殖やしたらと云ふことになつて、夜みせから又一羽が買はれて來た。が、それは雌だつたので、一羽の雄に二羽の雌では一夫多妻主義の實行になつて風義が惡いと云ふ氣持ちが家内中に濃厚になつて來た。

又、一羽、雄が連れられて來た。が、不思議なことにはこの雄が小さいボール箱から鳥かごの中へヒョン

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と飛び込んだ瞬間に、最初買はれて來ていつもシヨンボリしてゐた雌がツト其の新入の雄に寄り添ふた。その雄はその雌にチヤツと鳴きながらキツスした。次にはク、、、、、とのどを鳴らして愛をさゝやき合ふてゐる。

かごの中が急に活氣を呈して賑やかになつたのは先づいゝとして此處に災難なのは最初買はれて來た雄である。彼は絶へず新入の雄にいじめられる。

新入の雄はク、、、、、と云ひながら自分を愛する雌をなめまはすような恰好をして愛撫してゐるかと思ふと急に首を先入の雄の方に向けてガツンとくちばしのゲンコを食（くら）はす。キ、、、、、とひめいを擧げて逃げるかと思ふと、又、イチヤ〳〵してゐる二羽と同じとまり木に來てはガツンを食（くら）はされる。

愛憎の亂舞の目まぐるしさに呆氣にとられたような様子をしてもう一羽の雄は三羽に背を向け遙か離れたかごのふちに、松の木に雌がとまつた恰好で、しがみ付いて目をパチクりさせてゐる。

が、毎日々々こうして朝から晩まで、憎んだり愛したり餌をつついたり同じことを繰り返へしてゐる其れは單なる小鳥の生活だと云ひ切る資格ある人間が果して此の世の中に幾人あるだろうかと云ふことを私は考へさせられる。

歴史を知り、未來を思ひ、共存を自覺すると云ふ精神的要素が我々人間になかつたならば、我々人間もやつぱり唯單に愛したり憎んだり呑んだり食つたりしてゐるだけである。

小鳥は持つてゐない僞りや虚飾や呑慾が我々人間にはあるだけそれだけ、小鳥の生活よりも我々人間の生活は劣つてゐると云はなければならない。

本誌定價表（臨時）

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

昭和三年四月廿三日印刷納本
昭和三年五月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉

東京市牛込區若松町五四
印刷人　大杉直次郎

東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京五三六八八番

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可

【定價金十錢】